



やまなみ

山形市立大曾根小学校
学校だより
令和4年5月24日
校長
No. 3 太田 千春

「いのちの教育」の推進

本校では、昨年度に引き続き「いのちの教育」を推進しています。変化する社会においては、自己の存在と同時に他者の存在や価値観を尊重することや、多面的・多角的なものの見方・考え方ができることがさらに重要となり、多様な価値観、それぞれの個性や違いを理解し、互いの生き方や人格を尊重する力がより必要となります。「いのち」に対する思いや考えを育て、「生き方」の確立を目指すことは、すべての教育の基本です。本校では、特別の教科 道徳を要としてその充実を図り、以下に示した3つのことを重視して教育活動を展開してまいります。

「いのちの教育」の3つの柱

- 1 自分を大切に思える気持ちを育てること
- 2 「いのち」のつながりと多様性に気付かせること
- 3 「いのちの尊さ」と人間としての「生き方」をしっかり教えること



てっぺんーん!

5月11日(水)、6年生の扮する「さといもマン」から植え方を教えてもらい、今年も全校児童が2株ずつの里芋を植えました。また、グラウンド脇の畑には好きな野菜の苗を植え、栽培活動が始まりました。登校した子供たちは、すぐに畑に足を運んで野菜の成長の様子を確かめ、水やりなどの世話を行います。こうした日々の営みが、大切な「いのちの教育」になっていることを実感します。子供たちにとって、収穫の喜びを味わうとともに、いのちのつながりを学び、いのちをいただくことに感謝の気持ちを抱ける場にしていきたいと思えます。



交通安全指導を行いました

道路での歩行や自転車の正しい乗り方について、交通事故防止と安全に対する正しい知識を得て、日常生活に活用できるようにすることをねらいとし、全学年で交通安全指導を行いました。今回は、1・2年生は道路歩行、3年生以上は自転車乗りを中心に指導しましたが、日常の安全な登下校、帰宅後の自転車乗りができるよう、今後も継続して指導を行ってまいります。



種籾を蒔きました

4月26日(火)、大木万之助様、庄司一朗様に御指導いただき、5年生の児童が種籾を蒔きました。必要な水分を吸収させ、わずかに発芽させた種籾を床土を敷いた育苗箱に蒔きました。5月の田植えまでに、丈夫な苗に育てていただきます。

ご指導いただける地域の方々がいらっしゃることで、学校に隣接している田んぼがあること等、恵まれた環境にあることに感謝しながら、これからの米作りの学習に取り組んでほしいものです。



新しい鯉が仲間入り

現4年生が、昨年度の総合的な学習の時間に探究した「常明寺の鯉」6匹を、先日、学校に届けていただきました。早速、新しい水槽に移し、子供たちがお世話を続けています。今後は、現3年生に引き継ぎ、3年生の鯉の探究がスタートする予定のようです。地域の特色ある産業のひとつである鯉の養殖に関心を持ち、私たちも育ててみたいという思いが、現実のものとなりました。御協力いただき、ありがとうございました。



学校図書館をワクワク空間にリニューアルへ

令和4年度は、学校経営の重点に係る具体的実践のひとつに、「読書活動の充実」を掲げています。教科指導における学校図書館の一層の活用を図るとともに、家庭・地域における読書活動を支援し、家庭における子供の読書習慣を形成していきたいと考えています。

先日、学校図書館の様様替えを行いました。本来、学校図書館は「読書センター」としての役割の他に、子供たちの主体的な学習を支える「学習センター」や「情報センター」として機能も併せもっています。それぞれが有効に機能するようレイアウトしました。今後は、資料展示や館内掲示等も工夫し、子供たちの読書意欲を喚起していきたいと思ひます。そこで、図書館整備に御協力いただけるボランティアを募ることにしました。地域・保護者の皆様にもお力添えいただきながら、子供たちがワクワクするような魅力的な図書館づくりに努めてまいります。

